

令和4年度第1回竹原市地域公共交通会議議事録

日時：令和4年7月28日（木）

14時00分～

場所：竹原市役所第1・2委員会室

1. 開会

2. 議題

○報告案件 令和4年度竹原市デマンド型乗合タクシー実証運行事業の現状について

【事務局から資料1に基づき説明】

【質疑応答】

以下のとおり意見があった。

- ・（委員） 吉名地区のデマンド交通実証運行を行う中で、現状運行している火曜日と土曜日を比較すると、市役所が閉庁日の土曜日より火曜日の予約が多く、9人以上予約があった場合お断りや時間変更をお願いしている状況があり、増便などを検討していただきたい。

○協議案件 令和5年度竹原市デマンド型乗合タクシー運行事業について

【事務局から資料2に基づき説明】

【質疑応答】

- ・（委員） 利用者の中に、乗降する際に介助人が必要ではないかを感じる利用者の方がおられるため、今後そういった方の対応について事務局においても検討していただきたい。
- ・（委員） 令和5年度の運行計画について、利用者が減少したことだけを理由に減便しているようにとれるため、一部の方だけでなく地域の方が望む形が反映できるような体制を整備し、来年度の事業を検討すべきではないか。
- ・（事務局） コロナの影響により昨年度から地域の会議自体が開催されないという状況下であり、本事業に係る周知活動や意見交換などが十分に実施できていないが、引き続き周知活動などを継続し、それらを踏まえたうえで今後の事業について検討していきたいと考えています。

- ・(会 長) 1点確認として、2ページにある運行便数について吉名地区が今年度と同様の設定になっていますが、先に委員から予約をお断りしている状況にあるとの発言があったが、それらを踏まえた対応は来年度に盛り込まれているのでしょうか。
- ・(事務局) 昨年度も同様の質疑があり、登録車両の稼働方法について関係機関に確認したうえで、令和3年度から令和4年度にかけても便数を減便したが、本登録車両を増車する体制を整備し、対応を図ってきた。今後、現状の体制にて運行が困難な場合、改善策について検討したいと考えています。
- ・(委 員) 補足として、登録車両を増車した場合でも利用人数によっては、事業者として運行に対するメリットがない場合が生じることを認識してほしい。
- ・(事務局) 予算に関わる内容になるため、現時点で詳細の説明は困難ですが、今後事業運営に係る経費についての考え方等については、関係事業者と協議を行い整理していきたいと考えています。
- ・(委 員) 3点質問があり、1点目については登録者数を増加させるための取組を現時点まででどういった形で行ったか。2点目は、令和3年度及び4年度の予算額はいくらか。3点目は、市内における運行方法について利用者が少ない場合でも各乗降場所に停車するのか。
- ・(事務局) 1点目の質問については、先ほどの説明と同様で今後も周知活動を継続していく事とあわせ今年度は利用促進のために無料チケットを配布しました。2点目については、概算で令和3年度は600万円、令和4年度が410万円となっており、3点目については、利用者がいない降車場所については通過するため停車はしません。
- ・(委 員) 本事業について参入はしていないが、先の発言にもあったように利用者が利用しやすいことが重要であると考えており、市内では現在の事業運行地区以外でも公共交通空白地及び不便地区が存在すると感じられるため、そういった地区に対して何かできればと感じており、今後も本事業を通じ、竹原市の活性化及び地域産業等が活発になることを望みます。
- ・(会 長) 計画内においても、公共交通空白地及び不便地区の解消についてはうたわれているため、その部分を解消するための施策を検討することが必要であると思います。
- ・(委 員) 2点質問があり、1点目は免許返納を促進するための割引は法的に困難か。2点目は、資料1の中にある令和4年度の当初想定利用者数が掲載されてい

るが、令和5年度においても同様の想定で開始するのか。

- ・(事務局) 1点目の質問については、令和3年度に10回乗車された方は1回無料といった市独自の制度を実施し、利用促進を図りました。今後、同様の制度を実施する場合、法的な部分については関係機関と協議しつつ制度化したいと考えています。2点目については、本事業開始前の状況として仁賀地区は福祉バス及び乗合タクシーが、吉名地区は福祉バスが運行されており、それらの利用者数に本事業の便数を掛けて算出しています。令和5年度は、現状の利用状況等から改めて算出します。
- ・(委員) 意見として、本事業が市民ニーズにあったものでありかつ、事業者の方が経費部分等について不利益にならないようなお互いにとって有益な事業になるよう今後構築していただきたい。また、利用促進を図るために積極的な周知活動もあわせて実施していただきたい。
- ・(会長) ありがとうございます。議案1号について、委員の皆様から様々な意見をいただきましたが、令和5年度の本事業は基本的に議案書のとおり実施するという事で承認いただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

3. その他(意見交換)

- ・(委員) 現状の運行日について、運行日が土曜日の地区があり、平日と比較すると利用が少ないとのことでしたが、資料内の数値では大きな差は見られないと思いますが、おそらく各月の各曜日の合計日数の差が利用者数の差につながる部分もあると思いますが、運行曜日については現行から変更の予定はありませんか。
- ・(事務局) 本事業を実施する際に、令和3年度及び令和4年度両年度ともに、各地区の様々な代表の方、各地区の集会等にて相談や説明を実施し、様々なご意見をいただき、そのうえで運行ダイヤを決定しました。曜日の変更については、現在本事業の利用者の大半が高齢者で、その方々から短期間での曜日変更は認識することが困難になるという声も伺っておりますので、現時点では議案書のとおりダイヤで運行させていただければと思っています。

その他、事務局から本格運行に向けたスケジュール等を説明し、次回会議にて来年度の本格運行実施に向けた協議を行う旨の意見交換を行った。

4. 閉会